

毎月１日発行
発行所　むらさき学園
発行者　家田光信
住所　〒617-0814
長岡京市今里 5－12－9
TEL（075）953 － 0505
・ホームページＵＲＬ
http://www.sepia.dti.ne.jp/~yoh-murasaki/
・Eメールアドレス
yoh-murasaki@jasper.dti.ne.jp

― それぞれのスイッチ ―

園長　家田　美里

ご入園・ご進級おめでとうございます。

今日から新年度が始まります。朝、どきどきしながら登園してきた事でしょう。園に着くと、新しいクラスに名前があり、新しい名札をもらい、新しい担任を知りました。しかし進級が初めての新年中児は初めは、今までの担任の元へ行き、少しパワーをもらってから遊び始めるという日がしばらく続くでしょう。新しいクラスメイト、新しい担任、新しい部屋と全てが変わり戸惑う事ばかりです。新年長児は？と言いますと、メンバーは変わらずの進級です。大人は「メンバーが変わっていないから大丈夫！」と思ってしまいますが、とても繊細な子ども達にとっては部屋の場所が変わり、担任が変わるだけでもどきどきします。

さて、新入園児達は…といいますと、今までは幼稚園へ来るときは必ず保護者の方と一緒でした。しかし今日からはひとりです。お父さん、お母さんと一緒に行けないという事実を理解するまでに時間がかかり、その環境に慣れるまで涙もたくさん流すことでしょう。夫々に沢山の経験をし、夫々のペースで成長していきますので焦らずゆっくり見守っていきたいと思っています。

むらさき幼稚園には子ども達が遊びたい(行きたい)スイッチが園庭にあります。ひとつは砂場での水遊びです。家では怒られるであろう、大胆な水遊びです。ただひたすら蛇口全開で水を出し頭からびしょ濡れになって、一日何回も着替える事になります。それも一年中です。この水遊びはただ遊んでいるように見えますが、実は新しい友だちと出会い、毎日進化していきます。例えば、鍋を裏返し蛇口を捻ったら水しぶきが激しく飛び散るという発見がありました。どうすれば楽しくなるのか！と日々研究しております。そしてその中でどうすれば、水に濡れずに砂遊びができるのか！と周りの子ども達は考え、集団生活だからこそ出合える場面です。ふたつめのスイッチは園庭にある実のなる木です。三月の卒園式に満開になった桜が、食べきれない程のサクランボを子ども達にプレゼントしてくれます。桜の木は背が高くないので、年少児でも自分で採って食べる事ができます。「お腹と相談してね」と言うのですが「だいじょうぶー」と言い食べています。昨年度は全ての果実が豊作でした。一年間かけて季節・旬を感じる事ができました。少し園生活に疲れた頃に一歩を踏み出すきっかけになればいいと思っています。子ども達のスイッチは夫々に違いますが、自分のスイッチを見つけて園で目一杯遊んでほしいです。遊びが広がるにつれどんどんダイナミックになり、少々力量オーバーに見える遊びも沢山経験することにより、自分の力になります(これを非認知能力といいます)。転けそうになっても自然に手が出たり、これ以上言い過ぎれば友だちに怒られると気づけたりと。社会生活に必要な力が自然と身につきます。

さあ今年も一年、沢山笑い沢山遊び、沢山泣いて沢山ケンカして、そんな子ども達を見守っていきましょう。

	月のねらい	解説
四月	**往還二相**（おうげんにそう） 入園、進級を喜び、園生活に親しもう	仏法僧の三宝に敬う形が右手、左手を合わす合掌であり、自分自身を大切にするとともに他人を敬うこと。これは保育者と幼児の信頼関係樹立に結びつく。
五月	**安心立命**（あんじんりゅうめい） きまりを守り安定した園生活を楽しもう	親の安心、保育者の安心から幼児の安心が生まれる。心安らかなればやる気みずから生じる。自己を充実する事により、幸せは自ら築いて行くものである。
六月	**悉有仏性**（しつうぶっしょう） 見るもの、聞くもの全てから学ぼう	自分の生命を大切にすることと同様に、他の人間及び人間以外の全ての生物を大切にすることは、幼児の情操に大きな影響を及ぼす。
七月	**和顔愛語**（わげんあいご） だれにも親切にしよう	どんな時にも明るい笑顔を忘れない態度に社会性が芽ばえる。約束が結ばれると集団の秩序が保たれる。このような社会生活の中で個が育つという相乗作用が生まれてくる。